



27 福山市公衛協
【他団体との連携】

福山市市制一〇〇周年記念 全市ピカピカ大作戦

雨にも負けず「斉清掃」に参加

福山市市制施行一〇〇周年記念日(平成28年7月1日)を、ごみの無い美しいまちで迎えるため、例年6月第1日曜日に実施している「声田川を守る日」の市民一斉清掃に合わせて住民・ボランティア団体、企業が集結し、市民総ぐるみの「全市ピカピカ大作戦」が展開されました。

「世界環境デー」でもある6月5日、市民と行政が協働のまちづくりの理念のもとに、福山市公衆衛生推進協議会、福山市明るいまちづ

くり協議会、福山市自治会連合会の合同で開催し、10万人の参加を目指して計画されました。前日からの降雨で、市役所北広場での式典や芦田川等の河川清掃は中止となりましたが、それぞれの地域での「集団一斉清掃」と「軒先清掃」が行われました。

参加者からは「芦田川を守る日」の清掃は、恒例の行事として参加しています。あいにくの雨となりましたが、今年は清掃にたくさんの子どもたちが参加してくれたので、7月1日の

一〇〇周年の記念日をごみのない美しいまちで迎えることができました。という感想が聞かれました。

約1時間の清掃活動に、全80学区のうち58学区から住民、地元の小中学生、ボランティア、各種団体、企業合わせて4万1千227人の参加者があり、5千93キロのごみを回収。軒先清掃などで集められた町内清掃の土は、約86ト(2ト積みダンブ43台分)にものぼりました。また、清掃活動参加者には、もれなく福山

市イメージキャラクター「ばらの妖精「ローラ」のあしらわれた「参加証」が配布されました。

福山市公衆衛生推進協議会の瀬尾会長は「自分のまち(地域の清掃活動を通して、地域の方々と交流を図り、地域への愛情を深くする。このような考え方で多くの市民が参加し、3団体合同で清掃活動が実施されたことは非常に有意義であったと思います。」と語られました。この事業を通じて、地域のコミュニティの更なる連携強化が図られることに期待します。(地域活動支援センター)



今津学区(上)、道上学区(右)



御野学区(右上右下)、道上学区(右下)



災害を想定した取り組み 災害時も安定した水道供給に貢献するために

当協会は、平成28年3月に株式会社北陸環境科学研究所(本社:福井県)と、『災害時における相互支援に関する協定書』を締結し、平成28年4月に広島県公衆衛生会館で調印式を行いました。本協定は、大規模な自然災害や事故等の発生時、生活のライフラインである飲料水等の水質

互支援協定書調印式



広島県公衆衛生会館で行われた調印式

検査業務を適切に遂行するために、相互に連携・協力を行うというものです。近年、日本では大きな自然災害が頻発し、日常生活に多大な影響を及ぼしています。今も余震が続く熊本地震、平成27年の関東・東北豪雨、平成26年の豪雨による広島市の土砂災害、平成23年の東日本大震災など、広域被害をもたらした災害を思い浮かべることができます。

自然災害のことを考えたとき、水質検査を実施している私たちの建物に「豪雨や地震で壊れたら」「火災にあったら」あるいは「職員の多数が出勤できない状況が続いたら」とリスクを想定するこ

とは、当然のことではないかと考えます。

災害のリスク対策を考える場合、飲料水等の水質検査などのお客様へのサービスを継続できる体制の構築、訓練の実施などの基本的な準備のほかに、同じ検査を行っている他の検査機関との連携・協力が重要と

なります。相互に連携・協力する内容として、応急物資の調達、人的な支援、試験検査業務の代替遂行などが想定されます。

当協会と今回協定を締結した北陸環境科学研究所は、これまで人や技術について20年来交流を続け、互いに信頼関係を醸成し、平成27年度からは連携・協力のパートナーとしての協議を重ねて参りました。

私たちは今回の締結が、広島県内の水道事業体の安定的な水道供給に貢献し、その水道を利用されている広島県の地域住民の皆様に、必ず役立つものと考えています。(水道事業課)



② 株式会社ポプラ広島工場



認証日:平成26年1月20日
所在地:広島市安佐北区安佐町大字久地665-1
創業:昭和51年4月
話し手:製造部本部 品質管理 橋詰 吉貴 様

社会的に食品衛生への関心が高まる中で、お客様へ自信を持って製品をお届けするため、ファーストステップとして広島県食品自主衛生管理認証(以下県認証)の取得を決定しました。

自信をもって安心・安全をお届け

製販二貫の甘えを許さぬ外部の目

■業務内容
コンビニエンスストア「ポプラ」をメインに展開している小売業です。「製造から販売まで貫いて行う」を理念に、お弁当やお惣菜を自社工場で作っています。関

東、関西、北陸、九州に展開しており、広島工場では製造したお弁当は、西は長崎県、東は尾道市、北は島根県届けています。

製造から販売までを自社で行っているため、「甘え」による事故を起こさないために、外部の目で安心・安全を担保するというねらいもあります。

■今後のステップアップ
「県認証を深める」ことが当面の取り組みです。製造現場の写真や記録票を使った学習会を行い、製造ラインのリーダーの衛生管理技術の均一化、レベルアップ

HACCP(ハサップ)国際的に導入されている衛生管理手法。

を図っていきます。また、次のステップとして、県認証には明確に規定されていない危害分析の考え方を取り入れ、将来的にHACCPの導入を目指しています。

■消費者の皆さまへ

当社では、安心・安全かつ質の高い商品をお届けするため、品質にこだわっています。

安心して、ポプラのお弁当・お惣菜をご賞味ください。

インタビュー:高橋 記事:馬場田